

(資料)

※次の事例を読んで、生活上のトラブルについて考えてみよう

AさんとBさんは同じアパートの1階と2階に住んでいます。Aさんが1階、そのすぐ上にBさんが住んでいます。Aさんには高校1年生の女の子がいて、ピアノを習っているのですが、あまり上手ではありません。毎日ピアノの練習をしているのですが、なかなか上達しません。練習は夕食が終わって、夜7時30分頃から1時間くらいやっています。Bさんの家にも幼稚園の子供がいます。BさんはAさんの家から聞こえてくるピアノの音をうるさく感じています。丁度見たいテレビ番組があり、毎日下手なピアノの音が聞こえてきて邪魔に感じていました。Bさんの子も不快に思っています。

たまりかねたBさんは、Aさんのところに怒鳴り込んできました。

B「毎日、ピアノの音がうるさいんだけど、練習をやめてもらいたい。」

A「うちの子も、練習しなければうまくならないんだから、やめることはできない。

1時間くらいで終わるんだから、我慢してもらいたい。」

B「丁度見たいテレビの時間なのだ。うちの子もうるさいと言って怒っている。我慢できない。」

A「時間をずらせばもっと遅くなってしまう。そうすれば他の家にも迷惑になる。7時半ならいいではないか。それよりも、あなたの家でも子供がバタバタ走ったりして、うちに響いてくる。上からの音も聞こえるんだよ。」

B「うちではそんなにうるさくしていない。そもそもアパートでピアノを練習するなどとは非常識だ。ピアノをやりたいのだったら、アパートを出て自分の家を作ればいいではないか。」

A「アパートでピアノを練習してはいけないなんて、決まっではない。自分の家を作れるくらいなら、アパートなんか借りていないよ。何であなたにそんなことを言われるのか。そんなに嫌ならば、あなたが出て行けばいいではないか。」

B「うちの方が前から住んでいるのだから、出て行く筋合いはない。あなたの方が後から来たのだから、出て行ってもらいたい。」

これでは双方とも歩み寄りの余地がない。どうしたらよいだろうか。